

通告番号 番

前
平成30年6月1日 午 時 分 受 領
後

氏 名 小田桐 たかし ⑩

流山市議会議員 秋間 高義 様

市 政 に 関 す る 一 般 質 問 通 告 書

第 2 回定例会における一般質問を下記のとおり通告します。

質問事項	要旨 (質意を明確、具体的に)
1 内部告発への適正な対応について	(1) ごみ収集事業における委託事業に従事している従業員からの内部告発への対応は適切だったといえるのか、また今後どのように業務改善を図るのか。
2 防犯対策について	(1) 東初石2丁目内で発生した通り魔事件は、容疑者が逮捕され安ど感が住民間で広がっているものの、これまでの防犯対策に課題はなかったのか。また危険箇所への防犯灯、防犯カメラ設置等各自治会からの要望に可能な限り応えとともに、防犯パトロール隊への支援の在り方を見直し、人材確保等に当たるべきと捉えているがどうか。
3 住宅政策について	(1) 管理費及び共益費の取り扱いによる住民間トラブルが発生している。居住者の高齢化や要支援・要介護者の増加、公設・民間一括借り上げ・民間一部借上げなど市営住宅の管理形態の違い等も踏まえ、共同施設の管理と住民自治による環境保全を区別し、共同施設における管理費及び共益費は家賃と一体で市へ納付し、各施設の管理事業者等へ支払うなど事務効率の向上、住民トラブルの回避を図れると考えるがどうか。
4 はしか対策について	(1) 大人用のワクチン接種ができる病院等の案内はもちろんのこと、「母になるなら、流山市。」「父になるなら、流山市。」とのPR広告を続ける以上、妊娠を予定もしくは希望している女性やその夫などへのワクチン接種一部公的補助などはしかの流行から市民を守る対策を強化すべきだがどうか。
5 保育行政について	(1) 保育園の待機児童は今年4月どの程度解消されたのか。また、待機児童解消を理由に充実してきた保育士の様々な処遇改善について、取りやめる自治体が出始めており、本市内の保育園でも心配の声が聞かれているが、本市の取り組みについて問う。 (2) 学童保育について (ア) 本市自治基本条例には子どもの意見表明の機会の保障がうたわれていることから、子どもの意見も取り入れた事業運営が望まれていると考えるがどうか。 (イ) 指定管理の期間を10年に延期し、支援員等の専門性の維持・向上及び計画的運営や安定な雇用環境を整備していく必要があると思われるがどうか。また、安定的な人材確保に向けて、処遇改善をさらに図るべきと考えるがどうか。

6 教育行政について

- (1) 平成30年5月に発表された児童・生徒推計値及び想定値について
- (ア) 4月に発表された将来人口推計とどのように整合を図っているのか。
- (イ) 平成36年度には八木北小学校44学級1360人、小山小学校50学級1642人、南流山小学校52学級1652人、おおたかの森小学校58学級1815人、新設小学校36学級1185人となっていることから、新設小学校は1校のみとせず、必要な学校数は新設すると方針転換をはかり、良好な教育環境の保持にこそ力を注ぐべきだがどうか。
- (2) 新設中学校について、学校の適正配置の観点で予定地を確保しなければ、新設小学校をめぐり発生した学区の課題や生徒のいびつな偏りが生じたり、おおたかの森小学校児童数の増加によるおおたかの森中学校の影響など考慮すべき課題を後回しにしてしまいかねないがどうか。
- (3) 児童生徒の規範意識の向上等に向けた教職員による生徒指導には、文部科学省通知で挙げられている「ゼロトレランス方式」が広く適用されているが、児童生徒の指導にあたっては、個々の状況に応じ、問題行動の背景や程度、それぞれの児童生徒が抱える問題などをきめ細かく把握するとともに、教員が児童生徒を共感的に理解し、信頼関係を築きながら、一人ひとりの個性を踏まえたうえでの対応・指導が大前提と思われるがどうか。